2026年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月４日

上 場 会 社 名　　キッセイ薬品工業株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　4547　　URL　https://www.kissei.co.jp/
代　　表　　者　（役職名）代表取締役会長　（氏名）　神澤　陸雄
問合せ先責任者　（役職名）常務取締役財務管理部長（氏名）　北原　孝秀　（TEL）0263-25-9081

半期報告書提出予定日　2025年11月13日　配当支払開始予定日　2025年12月３日
決算補足説明資料作成の有無　：有
決算説明会開催の有無　：有　（証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

１．2026年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2025年４月１日～2025年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)　（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年３月期中間期	45,831	7.9	△6,837	―	△5,622	―	7,784	48.3
2025年３月期中間期	42,466	14.8	1,781	△11.6	2,237	△35.4	5,249	△7.6

（注）包括利益　2026年３月期中間期　10,001百万円（ 590.9%）　2025年３月期中間期　1,447百万円（△84.9%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年３月期中間期	186.81	―
2025年３月期中間期	118.75	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年３月期中間期	261,125	212,625	80.9	5,099.32
2025年３月期	244,059	210,126	85.6	4,882.71

（参考）自己資本　2026年３月期中間期 211,379百万円　2025年３月期 209,004百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年３月期	―	45.00	―	55.00	100.00
2026年３月期	―	60.00			
2026年３月期(予想)			―	60.00	120.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．2026年３月期の連結業績予想（2025年４月１日～2026年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	95,500	8.1	△2,600	―	△1,100	―	12,700	6.2	305.56

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：有

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　：　無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	46,541,985株	2025年3月期	47,911,185株
②　期末自己株式数	2026年3月期中間期	5,089,392株	2025年3月期	5,106,116株
③　期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	41,672,420株	2025年3月期中間期	44,205,278株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及びその他に関する事項については、添付資料４ページ「１.経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会資料の入手方法）

決算補足説明資料は、決算短信とあわせてＴＤｎｅｔ及び当社ウェブサイトに掲載しています。また、2025年11月６日（木）に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する資料についてはＴＤｎｅｔ及び当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）中間連結貸借対照表 …… 5
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 11
（継続企業の前提に関する注記） …… 11
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 11
（セグメント情報等） …… 11
（重要な後発事象） …… 13
３．その他 …… 14
（１）販売実績 …… 14

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における医薬品業界は、2024年４月の薬価改定に続き、2025年４月には新薬創出等加算対象品目、同対象品目以外の新薬、長期収載品といった医薬品をカテゴリー別に評価する薬価の中間年改定が実施されるなど、薬剤費全体の伸びは依然として抑制傾向にあります。

また、情報サービス業界、建設・施設メンテナンス業界、物品販売業界においては、IT需要や設備投資意欲に継続して堅調さが窺えるものの、円安や物価高騰に加え米国の関税政策の影響などにより、足元の景気は個人消費を中心に力強さに欠け、依然として厳しい競争環境下にありました。

このような状況下、当中間連結会計期間の業績は以下のとおりとなりました。

	前中間連結会計期間 （自　2024年４月１日 至　2024年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	増減率（%）
売上高（百万円）	42,466	45,831	7.9
営業利益又は 営業損失(△)（百万円）	1,781	△6,837	－
経常利益又は 経常損失(△)（百万円）	2,237	△5,622	－
親会社株主に帰属する 中間純利益（百万円）	5,249	7,784	48.3

・売上高の状況

医薬品事業の売上高は、38,347百万円（前年同期比4.7%増）となりました。過活動膀胱治療薬ベオーバ、顕微鏡的多発血管炎・多発血管炎性肉芽腫症治療薬タブネオス、透析患者におけるそう痒症治療薬コルスバ、慢性特発性血小板減少性紫斑病治療薬タバリスの売上の伸長などにより、増収となりました。

また、当社が創製したリンザゴリクス（一般名）の技術導出先であるセラメックス社（英国）は、子宮筋腫を適応症として2024年９月、ドイツにてYselty（イセルティ）の製品名で新発売して以降、発売国を拡大し、同年11月には子宮内膜症の追加適応症を取得しました。本剤は、当中間連結会計期間においても引き続き発売及び発売に向けた準備が進められており、輸出売上高は順調に増加しています。

当社がライジェルファーマシューティカルズ社（米国）から技術導入したホスタマチニブ（一般名、国内販売名：タバリス）は2025年７月に、本剤の韓国におけるサブライセンス先であるJWファーマシューティカル社（韓国）より新発売されました。

情報サービス事業の売上高は5,102百万円（前年同期比26.6%増）、建設・施設メンテナンス事業の売上高は1,868百万円（前年同期比42.9%増）、物品販売事業の売上高は512百万円（前年同期比4.0%増）となりました。

・利益の状況

増収を確保したものの、利益面では、売上原価率の上昇、研究開発費を主とした販売費及び一般管理費の増加により、営業損失、経常損失となりました。一方、親会社株主に帰属する中間純利益は増益となりました。なお、特別利益として投資有価証券売却益を計上しています。

・研究開発の状況

2025年７月、ビリジアンセラピューティクス社（米国）との間で、甲状腺眼症治療薬Veligrotug（一般名）及びVRDN-003（開発番号）の日本における独占的な開発権及び販売権の取得に関する契約を締結しました。また、2025年７月に急性骨髄性白血病治療薬Olutasidenib（一般名）の国内第Ⅰ相臨床試験の開始に続き、同年８月には当社が創製したバセドウ病治療薬KSP-0914（開発番号）の国内第Ⅰ相臨床試験を開始するなど、引き続き研究開発テーマのステージアップを図っています。

リンザゴリクスの海外展開については2025年10月、サーチライトファーマ社（カナダ）にカナダにおける独占的な開発権及び販売権を許諾しました。また、台湾における技術導出先であるシンモサバイオファーマ社（台湾）は、2025年10月に子宮筋腫を適応症として販売承認を取得しました。

（２）当中間期の財政状態の概況

①　資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当中間連結会計期間末の総資産は261,125百万円となり、前連結会計年度末に比べ17,065百万円増加しました。流動資産は、受取手形、売掛金及び契約資産が減少しましたが、現金及び預金、有価証券、棚卸資産が増加したことなどにより、12,896百万円増加し119,876百万円となりました。固定資産は、投資その他の資産の「その他」に含まれる長期前払費用が減少した一方で、有形固定資産、投資有価証券の増加などにより、4,169百万円増加し141,249百万円となりました。

（負債）

当中間連結会計期間末の負債は48,500百万円となり、前連結会計年度末に比べ14,567百万円増加しました。流動負債は、支払手形及び買掛金、未払法人税等、「その他」に含まれる未払金が増加したことなどにより、16,997百万円増加し33,575百万円となりました。固定負債は繰延税金負債の減少などにより2,429百万円減少し、14,924百万円となりました。

（純資産）

当中間連結会計期間末の純資産は212,625百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,498百万円増加しました。利益剰余金、その他有価証券評価差額金などが増加したほか、自己株式の取得と消却を行いました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の85.6%から80.9%となりました。

②　キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より13,114百万円増加し、当中間連結会計期間末では61,273百万円（前連結会計年度末比27.2%増）となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、棚卸資産の増加などの資金減少要因の一方で、その他流動負債、仕入債務の増加などの資金増加要因により、前年同期に比べ5,212百万円増の7,987百万円となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は、投資有価証券の売却などにより、前年同期に比べ10,003百万円増の12,782百万円となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、自己株式の取得、配当金の支払いなどにより、前年同期に比べ5,702百万円支出増の7,663百万円となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

医薬品業界においては、薬価制度改革をはじめとする医療費抑制策の影響を受け、引き続き厳しい経営環境下にあります。また、当社を含むグループ各社においても、円安や物価高騰に加え米国の関税政策の影響などにより、先行き不透明な業界環境が継続するものと予想されます。

現時点での2026年３月期の連結業績見通しは、以下のとおりです。

	2025年３月期 実績	2026年３月期 当初見通し (2025年７月)	2026年３月期見通し (対当初見通し増減額)	対2025年３月期	
				増減額	増減率 (%)
売上高（百万円）	88,330	91,500	95,500 (4,000)	7,170	8.1
営業利益又は 営業損失(△)（百万円）	5,773	△4,000	△2,600 (1,400)	△8,373	－
経常利益又は 経常損失(△)（百万円）	6,974	△2,600	△1,100 (1,500)	△8,074	－
親会社株主に帰属する 当期純利益（百万円）	11,961	12,300	12,700 (400)	739	6.2

・売上高

当初見通しより4,000百万円増額の95,500百万円（前年度比8.1%増）に修正します。

中間連結会計期間の業績、ならびに現況を踏まえ、医薬品事業において2,500百万円、その他の事業において1,500百万円の増額を見込みます。

・利益

中間連結会計期間においては、販売費及び一般管理費がほぼ当初見通し通りであった一方、売上高の増加などにより、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する中間純利益は当初見通しを上回りました。年度後半では売上原価率が当初見通しから上昇することに加え、販売費及び一般管理費は若干の増加を見込んでいます。

通期の利益見通しについては、営業利益は当初見通しより1,400百万円改善し△2,600百万円（前年度比－%）、経常利益は当初見通しより1,500百万円改善し△1,100百万円（前年度比－%）となる一方、親会社株主に帰属する当期純利益は当初見通しより400百万円増額の12,700百万円（前年度比6.2%増）に修正します。なお、年度後半の特別損益においては、投資有価証券売却益として2,600百万円、固定資産売却益として800百万円を見込んでいます。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年３月31日)	当中間連結会計期間 (2025年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,169	36,324
受取手形、売掛金及び契約資産	29,654	28,344
有価証券	23,485	25,374
商品及び製品	13,706	13,178
仕掛品	199	1,661
原材料及び貯蔵品	11,074	11,402
その他	3,689	3,590
流動資産合計	106,980	119,876
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	39,422	42,209
減価償却累計額	△30,845	△31,069
建物及び構築物（純額）	8,577	11,140
土地	13,067	13,067
建設仮勘定	2,015	45
その他	17,342	19,861
減価償却累計額	△13,932	△14,352
その他（純額）	3,410	5,509
有形固定資産合計	27,069	29,762
無形固定資産	1,894	2,005
投資その他の資産		
投資有価証券	84,869	86,945
退職給付に係る資産	8,804	9,245
繰延税金資産	566	496
その他	13,893	12,813
貸倒引当金	△18	△18
投資その他の資産合計	108,115	109,481
固定資産合計	137,079	141,249
資産合計	244,059	261,125

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年３月31日)	当中間連結会計期間 (2025年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,602	7,756
短期借入金	1,280	1,270
未払法人税等	1,474	5,095
賞与引当金	2,183	1,873
その他の引当金	139	117
契約負債	1,033	805
その他	5,866	16,657
流動負債合計	16,578	33,575
固定負債		
繰延税金負債	16,481	14,082
役員退職慰労引当金	202	211
資産除去債務	149	129
その他	520	500
固定負債合計	17,354	14,924
負債合計	33,933	48,500
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,356	24,356
資本剰余金	24,226	24,243
利益剰余金	131,488	132,746
自己株式	△14,520	△15,513
株主資本合計	165,550	165,833
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	38,752	41,066
退職給付に係る調整累計額	4,701	4,480
その他の包括利益累計額合計	43,453	45,546
非支配株主持分	1,122	1,245
純資産合計	210,126	212,625
負債純資産合計	244,059	261,125

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年４月１日 至 2024年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）
売上高	42,466	45,831
売上原価	21,068	23,143
売上総利益	21,397	22,688
販売費及び一般管理費	19,616	29,525
営業利益又は営業損失（△）	1,781	△6,837
営業外収益		
受取利息	20	62
受取配当金	715	842
有価証券評価益	―	399
その他	51	96
営業外収益合計	786	1,400
営業外費用		
支払利息	9	13
有価証券評価損	117	―
為替差損	159	94
支払手数料	37	72
その他	5	4
営業外費用合計	330	184
経常利益又は経常損失（△）	2,237	△5,622
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	5,190	14,828
移転補償金	―	371
特別利益合計	5,190	15,199
特別損失		
固定資産売却損	0	―
固定資産処分損	140	109
減損損失	128	―
投資有価証券売却損	―	56
特別損失合計	269	166
税金等調整前中間純利益	7,159	9,410
法人税、住民税及び事業税	1,954	4,804
法人税等調整額	△47	△3,271
法人税等合計	1,906	1,532
中間純利益	5,252	7,878
非支配株主に帰属する中間純利益	2	93
親会社株主に帰属する中間純利益	5,249	7,784

中間連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年４月１日 至 2024年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）
中間純利益	5,252	7,878
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,623	2,348
退職給付に係る調整額	△180	△225
その他の包括利益合計	△3,804	2,123
中間包括利益	1,447	10,001
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	1,442	9,877
非支配株主に係る中間包括利益	5	123

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年４月１日 至 2024年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	7,159	9,410
減価償却費	2,282	2,254
減損損失	128	－
移転補償金	－	△371
引当金の増減額（△は減少）	△101	△321
退職給付に係る資産の増減額（△は増加）	△578	△679
受取利息及び受取配当金	△735	△904
支払利息	9	13
有価証券評価損益（△は益）	117	△399
固定資産売却損益（△は益）	△0	△0
固定資産処分損	140	109
投資有価証券売却損益（△は益）	△5,190	△14,771
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	1,246	1,310
棚卸資産の増減額（△は増加）	△15	△1,261
その他の流動資産の増減額（△は増加）	162	542
仕入債務の増減額（△は減少）	349	3,154
契約負債の増減額(△は減少)	△475	△227
その他の流動負債の増減額（△は減少）	60	10,562
その他の固定負債の増減額（△は減少）	△115	△58
その他	115	△6
小計	4,558	8,357
利息及び配当金の受取額	699	874
利息の支払額	△10	△13
移転補償金の受取額	－	371
法人税等の支払額	△2,472	△1,601
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,775	7,987
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△33	△65
定期預金の払戻による収入	39	29
特定金銭信託の払戻による収入	91	58
有形固定資産の取得による支出	△1,993	△2,897
有形固定資産の売却による収入	13	－
無形固定資産の取得による支出	△171	△438
投資有価証券の取得による支出	△508	△982
投資有価証券の売却及び償還による収入	5,561	17,254
貸付けによる支出	－	△1
貸付金の回収による収入	1	1
長期前払費用の取得による支出	△36	△3
その他	△184	△172
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,779	12,782

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年４月１日 至 2024年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	150	170
短期借入金の返済による支出	△230	△180
リース債務の返済による支出	△67	△82
配当金の支払額	△1,812	△2,354
自己株式の取得による支出	△0	△5,216
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,960	△7,663
現金及び現金同等物に係る換算差額	△40	7
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	3,553	13,114
現金及び現金同等物の期首残高	45,887	48,158
現金及び現金同等物の中間期末残高	49,440	61,273

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2025年５月７日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,369,200株を5,216百万円で取得しました。また、2025年６月27日付で自己株式1,369,200株、4,173百万円の消却を実施しました。この結果、当中間連結会計期間において利益剰余金が4,173百万円減少、自己株式が992百万円増加し、当中間連結会計期間末において利益剰余金が132,746百万円、自己株式が15,513百万円となりました。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2024年４月１日　至　2024年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				合計
	医薬品	情報サービス	建設・施設メンテナンス	物品販売	
売上高					
医薬品事業					
国内医薬品	31,258	－	－	－	31,258
輸出・海外ライセンス	3,574	－	－	－	3,574
ヘルスケア食品	1,800	－	－	－	1,800
情報サービス事業	－	5,307	－	－	5,307
建設・施設メンテナンス事業	－	－	2,638	－	2,638
物品販売事業	－	－	－	588	588
顧客との契約から生じる収益	36,633	5,307	2,638	588	45,167
外部顧客への売上高	36,633	4,032	1,307	492	42,466
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	1,274	1,330	95	2,701
計	36,633	5,307	2,638	588	45,167
セグメント利益	1,375	193	162	59	1,791

なお、欧州でのリンザゴリクス発売開始に伴い、原薬等の輸出売上を含む海外売上高の重要性が増したため、前連結会計年度末より収益の分解情報について区分を変更し、従来「医薬品販売」に含めていた国内医薬品売上、「技術料」に含めていた国内ライセンスアウト先からの収入及び「その他」を「国内医薬品」とし、「医薬品販売」に含めていた海外ライセンスアウト先向けの原薬等の輸出売上及び「技術料」に含めていた海外ライセンスアウト先からの収入を「輸出・海外ライセンス」としました。

この変更を反映させるため、前中間連結会計期間の収益の分解情報について組替えを行っています。この結果、「医薬品販売」に含めていた国内医薬品売上29,017百万円、「その他」2,241百万円を「国内医薬品」31,258百万円として、また、「医薬品販売」に含めていた輸出売上2,143百万円及び「技術料」に含めていた海外ライセンスアウト先からの収入1,430百万円を「輸出・海外ライセンス」3,574百万円として組み替えています。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,791
セグメント間取引消去	46
固定資産の調整額	△46
その他の調整額	△9
中間連結損益計算書の営業利益	1,781

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				合計
	医薬品	情報サービス	建設・施設メンテナンス	物品販売	
売上高					
医薬品事業					
国内医薬品	32,766	－	－	－	32,766
輸出・海外ライセンス	3,775	－	－	－	3,775
ヘルスケア食品	1,806	－	－	－	1,806
情報サービス事業	－	6,491	－	－	6,491
建設・施設メンテナンス事業	－	－	3,510	－	3,510
物品販売事業	－	－	－	668	668
顧客との契約から生じる収益	38,347	6,491	3,510	668	49,019
外部顧客への売上高	38,347	5,102	1,868	512	45,831
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	1,389	1,641	156	3,187
計	38,347	6,491	3,510	668	49,019
セグメント利益又は損失（△）	△7,501	407	277	106	△6,710

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	△6,710
セグメント間取引消去	44
固定資産の調整額	△195
その他の調整額	24
中間連結損益計算書の営業損失（△）	△6,837

（重要な後発事象）

（重要な契約の締結）

当社は、当社が創製した子宮筋腫及び子宮内膜症治療薬リンザゴリクスのカナダにおける開発権及び販売権を、サーチライトファーマ社（カナダ）に許諾する契約を締結しました。概要は、以下のとおりです。

(1) 契約締結の相手会社の名称

サーチライトファーマ社（カナダ）

(2) 契約締結日

2025年10月７日

(3) 契約の内容

リンザゴリクスのカナダにおける開発権及び販売権の許諾

(4) 契約の締結が営業活動等へ及ぼす重要な影響

本契約の締結により、当社はサーチライトファーマ社より契約一時金、事業化の進捗に応じたマイルストン、製品販売に伴うロイヤルティを受け取るとともに、同社に対象品を供給します。

３．その他

（１）販売実績

当中間連結会計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

区分	前中間連結会計期間 （自　2024年４月１日 至　2024年９月30日）		当中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）		増減	
	金額 （百万円）	構成比 （%）	金額 （百万円）	構成比 （%）	金額 （百万円）	増減率 （%）
医薬品事業	36,633	86.3	38,347	83.7	1,714	4.7
泌尿器科用薬剤	11,357	26.7	10,614	23.2	△742	△6.5
腎・透析科用薬剤	7,693	18.1	8,570	18.7	877	11.4
希少疾病用薬剤	5,256	12.4	7,312	16.0	2,056	39.1
代謝内分泌科用薬剤	2,476	5.8	1,927	4.2	△549	△22.2
産婦人科用薬剤	326	0.8	268	0.6	△57	△17.6
眼科用薬剤	145	0.3	89	0.2	△55	△38.3
その他の薬剤	1,762	4.1	1,645	3.6	△116	△6.6
その他（注）１	2,241	5.3	2,337	5.1	96	4.3
輸出・海外ライセンス（注）２	3,574	8.4	3,775	8.2	200	5.6
ヘルスケア食品	1,800	4.2	1,806	3.9	6	0.3
情報サービス事業	4,032	9.5	5,102	11.1	1,070	26.6
建設・施設メンテナンス事業	1,307	3.1	1,868	4.1	560	42.9
物品販売事業	492	1.2	512	1.1	19	4.0
合計	42,466	100.0	45,831	100.0	3,365	7.9
（うち輸出高）	(3,581)	(8.4)	(3,786)	(8.3)	(204)	(5.7)

（注）１．国内販売提携先供給額、コ・プロモーションフィーの合計額

２．ライセンスアウトに係る契約金、マイルストン収入、ランニングロイヤルティ及び医薬品輸出の合計額

３．セグメント間取引については、相殺消去しています。